

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



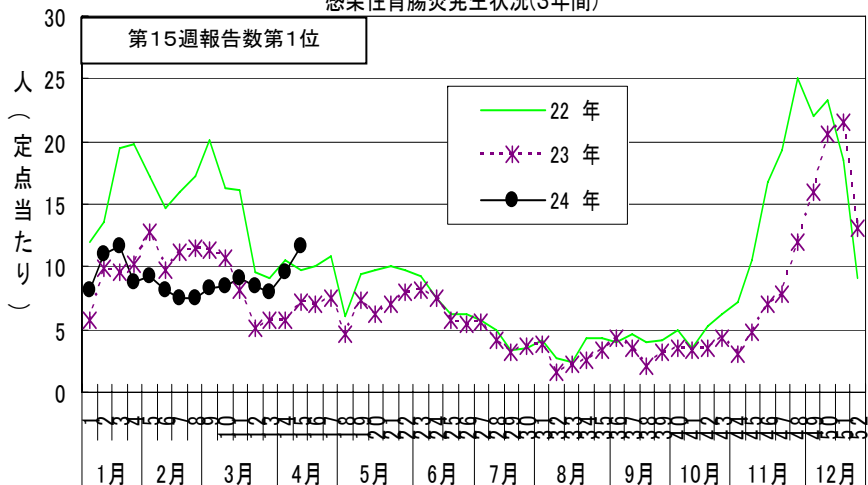
平成24年4月9日（月）～4月15日（日）〔平成24年第15週〕の感染症発生状況

第15週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

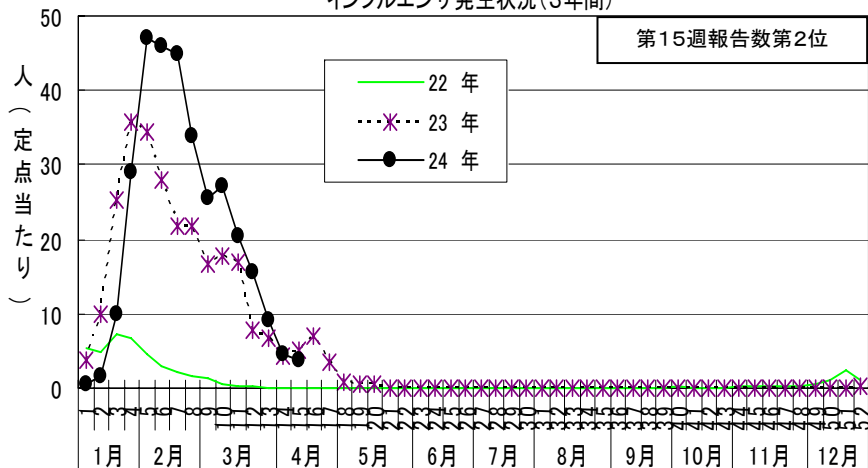
感染性胃腸炎は定点当たり11.73人と前週（9.61）より患者報告数は増加しており、過去10年間の同時期と比較して、今年が最も多い報告数となっています。インフルエンザは定点当たり3.78人と前週（4.44）より患者報告数はさらに減少しましたが、もうしばらくは予防対策の徹底が必要です。

細菌性赤痢の届出が1件（推定感染経路：経口感染、推定感染地域：インド）ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



～海外旅行で気をつけたい感染症（食べ物編）～

もうすぐゴールデンウィークです。この長期休暇を利用して海外旅行を計画している方に注意していただきたいポイント（「食べ物編」と「動物編」）を御紹介します。今週は「食べ物編」です。

海外旅行等で食べ物が原因となる感染症には、腸チフス、赤痢、コレラ、A型肝炎などがあります。下痢を起こすものがほとんどですが、A型肝炎（症状：倦怠感・黄疸）のように下痢が主症状でない感染症もあります。一般的な注意点をあげますので海外旅行の際には注意してください。

①なま水を飲まない

※氷にも注意



海外で感染症にかからない
ために気をつけたいこと

⑤乳製品・卵製品は痛みやすいので、衛生状態の悪いものや調理後時間の経過したものには避けましょう。

③生野菜は避け、火を通したものを食べましょう。



②魚・肉類は火を通しましょう。



④果物は皮をむいたらすぐに食べましょう。時間の経過したカットフルーツなどに注意！



海外渡航者における予防接種の2つの側面

①海外での感染を予防するため

海外で発生又は流行している感染症に対し、自分自身が感染することを予防するとともに、家族や周囲の人達への感染を防止するためです。

②予防接種済証明書を要求する国があるため

入国時等に予防接種済証明書を要求する国や地域があるためです。帰国時の乗り換えの時に必要になる場合もあります。

発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター（保健所）
（問い合わせ先） 044-200-2412